憲法共同センター「憲法宣伝スポット」2019年4月　　　　参考例

こんにちは。私たちは、労働組合や中小業者、農民、弁護士、医療団体などが、力をあわせて憲法を守り生かそうと運動をすすめている「戦争する国づくりストップ！　憲法を守り・生かす共同センター」です。平和である今だからこそ、この平和を守る憲法9条を守り、いつまでも平和が続くことを願って、「安倍９条改憲ＮＯ！憲法を守り生かす全国統一署名」へのご協力をお願いしています。「戦争はイヤだ、平和が一番」という願いを集める署名です。私たちの家族、子どもたち、孫たち安心して暮らせる社会、そして平和な未来を手渡しましょう。この署名は、全国3000万人の声を集めて、安倍政権下での改憲を止める署名です。どうぞ、よろしくお願いします。

みなさん、安倍首相は先日の防衛大学校卒業式の訓示で「今や自衛隊は、国民の９割から信頼を勝ち得ている。次は私たちが、自衛官諸君が強い誇りを持って職務を全うできるよう、環境を整えるために全力を尽くす」と述べ、相変わらず改憲への執念を示しています。

こうした９条改憲にまえのめりする安倍首相の姿勢に、立憲野党６党・会派は「自衛隊員募集に６割の自治体が協力を拒否しているなどと事実を偽る発言まで行って改憲を主張しているもとで、改憲発議に道をひらく憲法審査会には応じない」ことを確認しました。市民と野党の共同、立憲野党の共闘で、安倍政権が狙う改憲発議は許さない声を大きく広げましょう。

みなさん、2月24日に投開票された辺野古埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票は、埋め立て「反対」が43万4149票で72％に達し、全市町村で多数を占めました。この県民投票の結果について安倍首相は「真摯に受け止める」と言いながら結果を無視し、辺野古新基地工事を強行しています。明確に示されたこの「新基地ノー」の民意に従い、辺野古新基地工事をただちに中止し、普天間基地の無条件閉鎖・撤去を求める対米交渉を始めるべきではないでしょうか。

しかも、政府は埋め立て予定地にある軟弱地盤の存在を認め、地盤改良工事だけで3年8か月かかると答弁しています。ところが、工事完了まで何年かかるか、予算がいくらかかるか示すことさえできません。こんな異常な公共工事はありえません。

辺野古新基地建設は完全に行き詰まっています。先日の朝日新聞の全国世論調査でも、辺野古移設を見直すべきだ55％と、見直す必要ない30％を大きく上回っています。3/16の沖縄県民大会には１万人もの市民が集まり、あらためて辺野古新基地建設ＮＯの声をあげました。全国各地で土砂投入に抗議する大規模な行動がおこなわれています。沖縄との連帯をさらに強め、全国から「新基地ノー」の大きな波を起こしていきましょう。

みなさん、安倍政権が実施をねらう今年10月からの消費税10％への増税は、その前提がこの間の国会論戦のなかで崩れました。首相官邸の関与が大問題になっている「毎月勤労統計調査」の不正により、「今世紀最高水準の賃上げ」という発表がウソであることが明らかになりました。実際には、実質賃金は2014年の消費税増税前に比べ、10万円以上も落ち込み、家計の実質消費支出も6年間で約25万円減少しています。首相は雇用者増を強調しますが、増えたのは女性や高齢者、若者の低賃金の非正規ばかりです。こんな経済状況と貧困・格差がすすむなかでの消費税増税など、とんでもありません。増税するなら、大もうけをしている富裕層と大企業にこそ応分の負担を求めるべきです。

　「改憲も増税も許さない」運動を広げ、選挙をチャンスに安倍政権退陣へと追い込みましょう。

「安倍９条改憲ＮＯ！　憲法を生かす3000万人署名」で「戦争する国」づくりを許さない世論を広げましょう。一斉地方選挙、参議院選挙で安倍政治の暴走をストップさせましょう。3000万人署名へのご協力をお願いします。